

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	既成市街地用途地域見直し事業			会計	款	項目	大	小
				01	08	04	01	02
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課				
施策	1-3	個性ある公共空間・歴史環境の形成と保全	主管課長	武田 淳				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山本町区域及び周辺区域の土地所有者等	意図	良好な住環境の形成により、満足度が向上する。 土地利用の実態に即した、適正な用途地域の指定をする。
事業内容	流山本町区域及び周辺の既成市街地における用途地域等の見直しを行い、地域の実態に即した土地利用の推進を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	本事業は、地区全体の将来的な整備方針等を作成することから、街なみ環境整備事業の導入も合わせて検討することとしたため、平成26年度から平成27年度へ全額繰越明許した。当該事業の都市計画決定手続きを進めるなかで、市全域を対象とした「高度地区」の手続きと併せて手続きを行う必要性が生じたことにより、年度内の事業完了が困難となったことから平成28年度に事故繰越をした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	流山市は住み心地が良いまちであると思う市民の	78.80	79.30	77.20	%
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・平成27年12月7日～平成28年1月5日 案の縦覧 ・平成28年2月2日 公聴会の開催			
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			4,837,000	3,012,000			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)			4,837,000	3,012,000			
人役・職員(人)			0.70	0.40			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	本町周辺の一部区域における、用途地域及び高度地区、防火・準防火地域の見直し及び地区計画の導入を目指す。	③取組の課題	指標としている「まちづくり達成度案アンケート」において、まちづくりの市民満足度を上げる。
②今年度(H27)に実施した取組	平成27年12月7日から平成28年1月5日まで案の概要の縦覧を行い、その間に提出された意見書に基づき、2月に公聴会を開催した。	④今後の改善計画	継続した都市計画の見直しをしていく。